学校番号	３２７

令和８年度　情報科（国際文化科）

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新情報Ⅰ　新訂版　（実教出版）						
副教材等	改訂版 プログラミング入門 Python 編（数研出版） 集中ドリル 情報Ⅰ データの分析（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●実戦形式の学習を通して社会で通用するコンピュータを扱うスキルの向上を目指すとともに，必要な知識やマナーを理解していきましょう。
●学習用として Chromebook などの個人端末が配布されますので，授業以外でも利用して自分の学びを改善しながら深めていきましょう。
●授業において情報機器を活用しつつ，生徒同士や担当教員とコミュニケーションを積極的に図り，交流とともに学びも深めていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次の通り育成することを目指す
（１）効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深めて技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする
【思考力、判断力、表現力等】
（２）様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う
【学びに向かう力、人間性等】
（３）情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身に付けているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見から解決に向けて，情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価を改善しようとしている
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　情報社会とわたしたち	第１節　情報社会を見渡してみよう １　SNS の普及と情報モラル ２　情報社会とは 第２節　情報システムとデータベース １　データベース ２　データの形式とデータモデル 第３節　データの活用 １　データの収集 ２　データの分析 第３節　モデル化とシミュレーション １　モデル化とは ２　モデル化を利用した問題解決 ３　大切な情報を守るために ４　情報社会を支える法律 ５　著作権に関する法律 ６　情報通信技術で変わる社会	a:情報に関する法規や制度，情報セキュリティの重要性，情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解する b:情報に関する法規や制度及びマナーの意義，情報社会において個人の果たす役割や責任，情報モラルなどについて，それらの背景を科学的に捉え，考察する c:学んだことを基に，自らの評価を改善しようとする a:データを表現，蓄積するための表し方と，データを収集，整理，分析する方法について理解し技能を身に付ける b:データの収集，整理，分析及び結果の表現方法を適切に選択し，実行し，評価し改善する c:コンピュータをデータ分析に活用する	定期考査	ワークシート提出ノート	観察 振り返りシート

2学期	第2章　コミュニケーションと情報デザイン	第1節　メディアとコミュニケーション 1　インターネット上のコミュニケーションの特性 2　ソーシャルメディアの活用と注意点 第2節　情報デザイン 1　情報デザイン 2　情報を伝える様々な手段 3　誰にとってもわかりやすい情報デザインの工夫 4　情報デザインの流れ 第3節　情報のデジタル化 1　デジタルデータと2進法 2　文字・音のデジタル化のしくみ 3　画像のデジタル化のしくみ 4　動画のデジタル化のしくみ 5　圧縮のしくみ	a:効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身につける b:メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え，それらを目的や状況に応じて適切に選択する c:メディアの特性を利活用して効果的なコミュニケーションを行う	定期考査	ワークシート 提出ノート	観察 振り返りシート

	第3章 コンピュータとプログラミング	第1節　コンピュータのしくみ 1　コンピュータの基本的な構成 2　CPU とメインメモリ 3　CPU の演算のしくみ 第2節　アルゴリズムとプログラム 1　ものごとの手順とアルゴリズム 2　アルゴリズムを図式化してみよう 3　プログラムとプログラミング言語 4　プログラムの構造 5　プログラムを改善するときの考え方 6　プログラミングスタイルの変化	a:コンピュータや外部装置の仕組みや特徴，コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解する b:目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し，プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに，その過程を評価し改善する c:コンピュータを問題解決で効果的に活用しようとする	定期考査	ワークシート提出ノート	観察 振り返りシート
3学期	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用	第1節　情報通信ネットワークのしくみ 1　情報通信ネットワーク 2　データ伝送のしくみ～IP アドレスとプロトコル～ 3　データ伝送のしくみ～WWW と電子メール～ 4　情報セキュリティの重要性～個人認証～ 5　情報セキュリティの重要性～暗号化～	a:情報通信ネットワークの仕組みや構成要素，プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解する b:目的や状況に応じて，情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに，情報セキュリティを確保する方法について考える c:情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考える	定期考査	ワークシート提出ノート	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度